

科目名	コンサートプロダクト2							年度	2026
英語科目名	Concert Product 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート制作コース 1年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	濱野歩	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロデューサー、ディレクター		

【科目の目的】

実習を通してコンサート制作スタッフとしての業務の内容を理解する。また、イベント企画に必要な発想力やプレゼンテーション能力やコミュニケーション力を高める。コンサート制作スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション能力を身につけることを目的とする、

【科目の概要】

<コンサート制作コース>
コンセプトメイキングやライブ会場の研究など、企画書作成のノウハウを学びます。

【到達目標】

- A. コンサート制作コース内の役割を理解し適切に作業の分担ができる
- B. 全学生スタッフとの決起集会の開催の重要性が理解できる
- C. 出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの重要性を理解し開催できる
- D. 片柳記念ホール実習ライブを実施計画通りに開催できる
- E. 修了公演を実施計画通りに開催できる

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	コンサート制作コース内の役割を理解し適切に作業の分担ができる		コンサート制作コース内の役割を理解し作業の分担ができる		コンサート制作コース内の役割分担の理解が乏しい
到達目標 B	全学生スタッフとの決起集会の開催の重要性が理解できる		全学生スタッフとの決起集会の開催ができる		全学生スタッフとの決起集会の開催の重要性の理解が乏しい
到達目標 C	出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの重要性を理解し開催できる		出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングを開催できる		出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの重要性の理解が乏しい
到達目標 D	片柳記念ホール実習ライブを実施計画通りに開催できる		片柳記念ホール実習ライブの開催ができる		片柳記念ホール実習ライブ開催中のトラブルやイレギュラー対応ができない
到達目標 E	修了公演を実施計画通りに開催できる		修了公演の開催ができる		修了公演開催中のトラブルやイレギュラー対応ができない

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

- * グレードテストを定期的に行う。
- * 授業内容の理解度を確認するために実施する。
- * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンサートプロダクト2			年度	2026
英語表記		Concert Product 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	実習ライブ出演者決定の流れ	出演者ブッキング方法を学ぶ	1 出演者へのアプローチ	ライブ企画に合致するアーティストのリスト化を理解できる	2	
			2 出演者へのアプローチ	出演者への条件提示、出演依頼が理解できる		
			3 出演者へのアプローチ	出演者決定までのプロセスが理解できる		
2	出演者情報	出演者資料の種類	1 制作運営に必要な情報	出演者に関わる情報や書類について理解できる	2	
			2 制作宣伝に必要な情報	実習ライブ宣伝するための情報や書類について理解できる		
			3 ステージ制作に必要な情報	テクニカルスタッフにとって必要な情報や書類が理解できる		
3	実習ライブ組織	コンサート制作コース内の役割分担	1 企画制作	実習ライブ制作スケジュールの進捗管理ができる	2	
			2 宣伝	プロモーションプランの策定ができる		
			3 運営	当日運営に向けた事前準備の計画が立てられる		
4	実習ライブのコンセプト・タイトル	組織内の意思統一を図る	1 企画立案	実習ライブ開催の目的が理解できる	2	
			2 コンセプト	魅力的な立案の思いを明確化できる		
			3 タイトル	コンセプトから導かれるタイトルが考えられる		
5	公演概要書	公演概要書の各項目を学ぶ	1 公演情報	公演情報項目を理解し、作成できる	2	
			2 発売情報	発売情報項目を理解し、作成できる		
			3 クレジット	クレジット項目を理解し、作成できる		
6	手配確認書	実習ライブ当日に向けた出演者に対する準備計画確認を学ぶ	1 出演者へのお願い	実習ライブのレギュレーションを理解できる	2	
			2 各種リスト	出演者リスト、スタッフリスト、関係者リスト等の理解ができる		
			3 出演者への提示内容	楽屋割、ケータリング、駐車可能台数など、的確に提示できる		
7	発表会イベント	全学生スタッフとの決起集会の開催	1 決起集会の目的	全学生スタッフのモチベーション向上を狙う	2	
			2 プレゼンテーション	アーティスト発表を目的としたプレゼンテーションができる		
			3 情報解禁	情報解禁の意味を理解し、全学生と共有できる		
8	会議イベント	出演者を含めた関係者、学生代表スタッフとのプロダクションミーティングの開催	1 プロダクションミーティングの目的	実習ライブ開催に向けて最終的な確認を行える	2	
			2 ミーティング資料作成	実習ライブ開催に向けて最終的な確認事項が明確にできる		
			3 議事進行	スムーズな議事進行が行える		
9	片柳記念ホール 実習ライブ	片柳記念ホール 実習ライブ 事前準備・開催	1 片柳記念ホール実習ライブの実施計画に沿って本番開催	片柳記念ホール実習ライブの進捗管理の重要性を理解し実践できる セルフメディア構築の上、宣伝材料を作成し効果的な訴求でプロモーションプランを実践できる 運営計画を立案しプラン通りの運営が実践できる	2	
2						
2						
12	反省会イベント	実習ライブを振り返り修正、変更で今後の実習ライブ実施向上を目指す	1 事前準備	事前準備の重要性が確認できる	2	
			2 開催日	トラブルやイレギュラーな事象を適切に対応できる		
			1 申し送り	実施結果を分析し改善案を提示できる		
13	修了公演	修了公演 事前準備・開催	1 修了公演の実施計画に沿って本番開催	修了公演の進捗管理の重要性を理解し実践できる セルフメディア構築の上、宣伝材料を作成し効果的な訴求でプロモーションプランを実践できる 運営計画を立案しプラン通りの運営が実践できる	2	
2						
2						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等